テストの流れ

授業やガイダンスでの実施

VRTがよく実施されるのは、クラス単位での集団進路指導の場面です。 授業時間2コマ分を基本とします。1日に2コマとっても1コマずつ別の日に分けても構いません。 実施の流れの例を示します。採点・換算・結果の整理はコンピュータ判定も利用できます(图)。

進路相談などの個別面談での活用もできます。

用紙の配付、 テストの説明 集団で実施する場合は、まず全員に問題用紙と回答用紙を配付し、問題用紙の表紙に書かれた説明 を読み上げてテストの目的・意味を理解させます。

テストの実施

実施の所要時間は、おおむね40分ほどです。 実施者が各項目を読み上げる方法もあります(読み上げ音声ファイルの提供も可能です)。

採点・換算

採点·換算します(A)。

採点·換算に加え結果の整理は、オプションでコンピュータ判定を利用することもできます(B)。

結果の整理・ 解釈 (結果の活用)

「結果の見方・生かし方」(ワークシート)を使って自分の結果を整理し、プロフィールを作成します。 WORK1、2、3とWORKプラスという4つのワークによって、6つの職業領域ごとに示された職 業を具体的に調べながら、解釈を深めることができます。

さらに

個別指導へ

検査の結果について感想を書かせてもよいでしょう。迷ったり誤解している生徒には、個人的に説 明し直します。

さらに希望者には個人面談等の機会を設け、個別指導します。全員が行う進路面談の際に資料とし て活用することもできます。

グループ

- ・希望進学先の高校の学科やコースが、どの職業領域(RIASEC)、志向性(DTP)と関係するの かについてグループで話し合ってみる。
- ・A検査で「やりたい」と回答した項目の問題用紙の記述がどんな職業を説明しているか、その職 業についてどのようなことを知っているか、グループで意見を出し合う。





特集

W 職業レディネス・テスト

「RIASEC」のタイプ分類はわかりやすくシンプルです。

自分のことを知りたいという気持ちは誰でも持っているので、生徒は「私は何タイプかな?」と喜んで受けます。

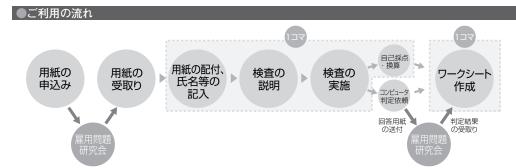
パーソナリティ・タイプは、学習テストや普段の学校生活からは見えない部分もあり、VRTでわかることがあります。 部活動などでリーダー的に活躍している生徒が、興味も自信も低く六角形のグラフ全体が小さいというケースもあります。 担任が個別面談する際の参考材料として有効活用できます。

職場体験の前の2年時と、進路面談の前の3年時と2回実施している中学校もあります。 結果の変化にときに生徒の成長が表れます。

ワークシートも使いやすく、そのとおりにやっていけばプロフィールが視覚化され、理解が深まります。 自分でワークをしながら想像し、考えていくことができるようになっています。

就職希望者のみを対象としたものではなく、進学、さらにその先の将来、自分のキャリアを考えるためのツールです。

コロナ禍で職場体験、就業体験の中止や大幅な縮小をせざるを得なくなったとしても、キャリア教育のプログラムの一環として VRTを実施すれば、少しでも自己理解・職業理解の機会とすることができます。



●料金 (税込)

コンピュータ判定とも 1 名分**■640**円-

- ●問題用紙
- ●回答用紙(中学生用/高校生以上用)
- ●結果の見方・生かし方
- ●コンピュータ判定料……340円

●手引……1,430円

....300⊟

●問題用紙・回答用紙・ワークシート



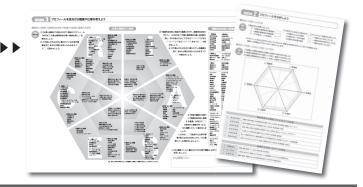
#27/88人 9#89#R・19### 職業レディネス・テスト[第3版]

●回答用紙





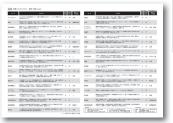




●コンピュータ判定 結果資料 中学校の場合



●職業一覧表



●クラス別結果一覧表

者用資料



●学年集計表



13 職業研究——2021 No.1